

Performers ~出演~



◆ 泉谷 貴彦 (木と音の会 代表)

高知県土佐清水市出身。千葉県、高知県の中学校に勤めながら手作り楽器の活動に取り組む。職を辞し「木と音の会」を立ち上げた後は本活動に専念し、スイス・バーゼル州でのコンサートをはじめ国内で数多くの演奏会を開催。平成20年頃より最上町に滞在しながら小学生を対象とした楽器製作ワークショップ等を定着させ、平成30年には東京で開催された小さな音楽会コンクールにて赤倉小学校を金賞1位に導く。

現在は樹齢600年といわれる幹回り日本一のアカマツ伐採材を活用した楽器を製作し、町民オーケストラを育てる活動に取り組んでいる。



◆ 森の楽器の会 (ベルフォレ)

森の楽器に魅せられた仲間たちによって平成27年に結成された最上町のハープ演奏グループ。地域サロンや町イベント等に出演する他、毎年、山形みどり環境税の助成団体として町の木に親しみながら木工製品の良さを広く伝えるべく各ワークショップ等に取り組む。



◆ 新庄北高等学校最上校 木と音の会

地域活動部に所属し、木製の各種創作楽器を主体として扱い、演奏活動を展開する演奏班。先輩から演奏技術を引き継ぎ、木製創作楽器が奏でる音楽を部員達で高め合いながら、校内での各種発表会や町の音楽会などに出演して、日々の練習成果を披露している。



◆ アカマツ特別演奏隊

本音楽会に向けて町が公募した演奏希望者により結成されるグループ。子どもから大人まで幅広い年代で構成され、2月から木と音の会の泉谷貴彦氏の指導を受ける。枯死した後に生まれ変わったアカマツの音色を感じながら楽しく演奏基礎を学び、音楽会ではその成果披露に皆でチャレンジする。



◆ 最上町コーラス隊『絆』

故・池田弦氏と東海林豊氏による指導の下、東日本大震災の被災地支援をはじめ、歌声をとおして“世代を超えた絆づくり”を目的に誕生した混声グループ。小学生から高齢まで幅広い年代で構成し、毎週土曜の夜を定期練習日としながら町内外のお祭りやイベントに積極的に参加している。

Special guest ~特別出演~

◆ 宜蘭県羅東鎮北成国民小学校 (台湾)

北成小学校国楽団は1999年に創設され今年で25年目を迎えるが、過去には台湾国楽コンクール小学生部門をはじめ優秀な成績を多数収めている。ゲスト出演する生徒たちは、小学生部門の琵琶コンクールで2位、楊琴コンクールでは5位入賞を果たしており、スオナを演奏する生徒は団体の首席である。本演奏会では、台湾の絵本をテーマに台湾伝統音楽と日本童謡を組み合わせた活気ある世界観を生み出すべく、様々な楽曲編成により披露する。



スオナ



フルシ